

EF シネマレンズ「FLEX ZOOM LENS」シリーズでスーパー35mm センサー対応製品を拡充  
シネマスタイルでの映像表現拡大と柔軟で効率的な映像制作を支援

キヤノンは、EF シネマレンズ「FLEX ZOOM LENS」シリーズの新製品として、スーパー35mm センサー搭載カメラに対応する、広角ズームレンズ「CN-E14-35mm T1.7 L S / SP」を2023年6月下旬に、望遠ズームレンズ「CN-E31.5-95mm T1.7 L S / SP」を2023年10月下旬に発売します。同時に、リレーキット「RL-S1」、「RL-S2」、「RL-F1」、「RL-F2」を発売し、「フルサイズ」もしくは「スーパー35mm」へと対応センサーの切り替えができるリレーキットの交換サービスを開始します。



CN-E14-35mm T1.7 L S (EF マウント)  
CN-E31.5-95mm T1.7 L S (EF マウント)

リレーキットの交換サービス

2022年に新たに誕生した「FLEX ZOOM LENS」シリーズの2機種は、フルサイズセンサー搭載カメラに対応しています。このたび、本シリーズからスーパー35mm センサー搭載カメラ対応の広角／望遠ズームレンズを発売し、ラインアップを拡充します。新製品は、自然なボケ描写で印象的な画作りを実現し、キヤノンの「単焦点レンズ」シリーズ6本分の焦点距離をカバーします。さらに、新製品を含む「FLEX ZOOM LENS」シリーズ4機種を対象に、リレーキットの交換サービスを開始します。レンズマウント（「EF マウント」もしくは「PL マウント」）の交換や各種通信機能<sup>※1</sup>にも対応し、多様化するカメラや撮影スタイルに合わせたフレキシブルな映像制作をサポートします。

1. スーパー35mm 対応・大口径比 T1.7<sup>※2</sup> の明るさを実現する広角／望遠ズームレンズ

新製品は、映像美を徹底追求し、8K カメラに対応する高い光学性能を達成しながら、シネマスタイルの操作性を継承した大口径比ズームレンズです。スーパー35mm センサー搭載カメラに対応し、映画・ドラマ・CM など幅広い映像制作に活用できます。ズーム全域で開放絞り値 T1.7 の明るさを実現し、浅い被写界深度で印象的な映像表現が可能です。

2. リレーキットの交換によりさまざまなカメラに柔軟に対応

リレーキットは、イメージサークルを変換する光学系パーツです。リレーキット「RL-S1」、「RL-S2」により、2022年発売を開始したフルサイズセンサー搭載カメラ対応の広角／望遠ズームレンズ<sup>※3</sup>を、スーパー35mm センサー搭載カメラに対応するレンズとして使用できます。同様に、リレーキット「RL-F1」、「RL-F2」により、新製品のスーパー35mm センサー搭載カメラ対応の広角／望遠ズームレンズを、フルサイズセンサー搭載カメラに対応するレンズとして使用できます。「FLEX ZOOM LENS」シリーズは、汎用性の高いレンズ資産として末永くご利用いただけます。

※1. EF マウントでは EF マウントの通信プロトコル、PL マウントでは映像制作業界で広く採用されている Cooke 社の「i Technology」や ZEISS 社の「eXtended Data」に対応します。

※2. F ナンバーがレンズの焦点距離と口径から割り出される明るさの理論値であるのに対し、T ナンバーは F ナンバーにガラスの透過率を含めた値で、シネマレンズの明るさは一般的に T ナンバーで表記されます。

※3. 「CN-E20-50mm T2.4 L F / FP」（2022年6月発売）、「CN-E45-135mm T2.4 L F / FP」（2022年9月発売）

製品名	希望小売価格	発売日
CN-E14-35mm T1.7 L S (EF マウント)	オープン価格	2023 年 6 月下旬
CN-E14-35mm T1.7 L SP (PL マウント)		
CN-E31.5-95mm T1.7 L S (EF マウント)		2023 年 10 月下旬
CN-E31.5-95mm T1.7 L SP (PL マウント)		
RL-S1 (CN-E14-35mm T1.7 L S/SP 用リレーキット)		2023 年 6 月下旬
RL-S2 (CN-E31.5-95mm T1.7 L S/SP 用リレーキット)		2023 年 10 月下旬
RL-F1 (CN-E20-50mm T2.4 L F/FP 用リレーキット)		2023 年 6 月下旬
RL-F2 (CN-E45-135mm T2.4 L F/FP 用リレーキット)		2023 年 10 月下旬

- 
- 一般の方のお問い合わせ先                     : キヤノンお客様相談センター                     0570-07-0032
  - CINEMA EOS SYSTEM ホームページ             : [canon.jp/cinema-eos](http://canon.jp/cinema-eos)

## 〈“CN-E14-35mm T1.7 L S／SP”と“CN-E31.5-95mm T1.7 L S／SP”の主な特長〉

### 1. スーパー35mm 対応・大口径比 T1.7 の明るさを実現する広角／望遠ズームレンズ

- スーパー35mm センサー搭載カメラに対応し、自然なボケ描写で印象的な画作りを実現。機動性や運用性を兼ね備えたスーパー35mm センサー搭載カメラの撮影スタイルをサポート。
- ズーム全域で開放絞り値 T1.7 の明るさを実現し、浅い被写界深度で印象的な撮影が可能。
- 広角および望遠の 2 機種で焦点距離 14-95mm をカバー。
- 大口径非球面レンズや異常分散ガラスを用いたレンズを最適配置することにより、色にじみや色収差を極限まで補正し、ズーム全域において画面中心部から周辺部まで 8K カメラに対応する高い光学性能を達成。



撮影イメージ

### 2. リレキットの交換（有償）に対応

- キヤノン初となるリレキットの交換サービス（有償）を開始。
- リレキット“RL-S1”、“RL-S2”によりイメージサークルの変換を行い、フルサイズセンサー搭載カメラ対応の広角ズームレンズ「CN-E20-50mm T2.4 L F／FP」と望遠ズームレンズ「CN-E45-135mm T2.4 L F／FP」を、スーパー35mm センサー搭載カメラに対応するレンズとして使用可能。
- リレキット“RL-F1”、“RL-F2”によりイメージサークルの変換を行い、スーパー35mm センサー搭載カメラ対応の広角ズームレンズ“CN-E14-35mm T1.7 L S／SP”と望遠ズームレンズ“CN-E31.5-95mm T1.7 L S／SP”を、フルサイズセンサー搭載カメラに対応するレンズとして使用可能。

	センサーサイズ	焦点距離	最大口径比	リレキット	センサーサイズ	焦点距離	最大口径比
CN-E20-50mm T2.4 L F CN-E20-50mm T2.4 L FP	フルサイズ	20-50mm	T2.4	RL-S1	スーパー35mm	14-35mm	T1.7
CN-E45-135mm T2.4 L F CN-E45-135mm T2.4 L FP		45-135mm		RL-S2		31.5-95mm	
CN-E14-35mm T1.7 L S CN-E14-35mm T1.7 L SP	スーパー35mm	14-35mm	T1.7	RL-F1	フルサイズ	20-50mm	T2.4
CN-E31.5-95mm T1.7 L S CN-E31.5-95mm T1.7 L SP		31.5-95mm		RL-F2		45-135mm	

リレキット交換の概念図

### 3. レンズマウントキットの交換（有償）に対応

- 「EF マウント」もしくは「PL マウント」へ有償交換が可能。
- 「FLEX ZOOM LENS」シリーズは、リレキットの交換とマウントキットの交換に対応し、さまざまなカメラにフレキシブルに使用可能。レンズ資産を活用することで、コストパフォーマンスに優れた運用を実現。



マウントキットの交換サービス

#### 4. 効率的な映像制作を支援する各種通信機能に対応

- EF マウントでは、EF マウントの通信プロトコルに対応。レンズ情報の記録・表示に加え、一部カメラ<sup>※1</sup>では倍率色収差補正／周辺光量補正／デュアルピクセルフォーカスガイドが可能。
- PL マウントでは、映像制作業界で広く採用されている Cooke 社の「i Technology」や ZEISS 社の「eXtended Data」に対応。撮影時のフォーカス／ズーム／絞りの位置データやレンズの型式などをマウント経由でカメラ本体に表示・記録することが可能。

※1. 「EOS C500 Mark II」（2019年12月発売）、  
 「EOS C300 Mark III」（2020年6月発売）、  
 「EOS C70」（2020年11月発売）、「EOS R5C」（2022年3月発売）



レンズ情報の記録・表示が可能

#### 〈ご参考〉

#### 1. EF シネマレンズのラインアップ

キヤノンは、2011年11月にCINEMA EOS SYSTEMを発表して以来、CINE-SERVO レンズや COMPACT-SERVO レンズなどのシリーズを加えながらラインアップを拡充し、幅広いユーザーから高い評価を獲得してきました。「FLEX ZOOM LENS」の新製品を加え、シネマレンズのラインアップは合計 32 機種となります。用途や撮影シーンに応じて、ユーザーの求める画作りを強力にサポートするとともに、高画質で多彩な映像表現を求める映像制作のニーズに応え、映像表現領域の拡大に貢献します。

	EF マウント 17 本	PL マウント 15 本
FLEX ZOOM LENS	CN-E20-50mm T2.4 L F	CN-E20-50mm T2.4 L FP
	CN-E45-135mm T2.4 L F	CN-E45-135mm T2.4 L FP
	CN-E14-35mm T1.7 L S	CN-E14-35mm T1.7 L SP
	CN-E31.5-95mm T1.7 L S	CN-E31.5-95mm T1.7 L SP
PRIME LENS / Sumire Prime	CN-E14mm T3.1 L F	CN-E14mm T3.1 FP X <sup>※</sup>
	CN-E20mm T1.5 L F	CN-E20mm T1.5 FP X <sup>※</sup>
	CN-E24mm T1.5 L F	CN-E24mm T1.5 FP X <sup>※</sup>
	CN-E35mm T1.5 L F	CN-E35mm T1.5 FP X <sup>※</sup>
	CN-E50mm T1.3 L F	CN-E50mm T1.3 FP X <sup>※</sup>
	CN-E85mm T1.3 L F	CN-E85mm T1.3 FP X <sup>※</sup>
	CN-E135mm T2.2 L F	CN-E135mm T2.2 FP X <sup>※</sup>
CINE-SERVO LENS	CN10×25 IAS S/E1	CN10×25 IAS S/P1
	CN20×50 IAS H/E1	CN20×50 IAS H/P1
	CN8×15 IAS S/E1	CN8×15 IAS S/P1
	CN7×17 KAS S/E1	CN7×17 KAS S/P1
COMPACT-SERVO LENS	CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S	
	CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	

※ PL マウントを採用した単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」。

## 2. 「2023 NAB Show」への出展

2023年4月15日（土）～19日（水）まで、米国ラスベガスで開催される放送・映像制作機器の展示会「2023 NAB Show」のキヤノンブースにおいて、本製品／サービスを紹介する予定です。

## 3. シネマレンズの市場動向

浅い被写界深度で、より豊かな映像描写が魅力の大判センサー搭載カメラが映像制作において普及しています。映画だけでなく、スポーツイベント、ドラマ、テレビCMなどの撮影現場でも広がりつつあり、これらのカメラに対応する高い光学性能を持つレンズへのニーズがこれまで以上に高まっています。また、撮影時のカメラ・レンズ情報をVFXやポストプロダクションに活用するワークフローも広がってきており、効率的な映像制作をサポートするレンズへのニーズが高まっています。  
(キヤノン調べ)